

目 次

小川町の概要	1
沿革	2
位置と面積	2
地勢	2

土地・気象

埼玉県における小川町の位置	6
町域の変遷	7
地目別面積の推移	7
年別気象概況	8
月別気象概況	8
気象の注意報・警報の受理状況	8

人口・労働力

国勢調査人口の推移	12
年齢階層別人口	12
住民基本台帳人口の推移	13
5歳階級別男女別人口の推移	14
外国人人口の推移	15
人口動態の推移	15
昼夜間人口比率の推移	16
流入流出人口の状況	16
町丁字別人口	17
産業別就業者数の推移	18

農業・林業

農家数と農家人口の推移	22
経営耕地面積別農家数の推移	22
農家経営耕地面積の推移	22
家畜を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数	23
主要農産物収穫量の推移	23
農業用機械の所有経営体数と所有台数の推移	23
林家数及び保有山林面積	23

事業所・商工業

民営事業所数及び従業者数の推移	26
従業者規模別民営事業所数及び従業者数	27
商業の推移	28
卸売業計小売業中分類別集計	28
工業の推移	29
工業産業中分類別集計	29
小川町の伝統産業	30

住宅・水道

家屋の利用状況	34
町営住宅の概要	34
住居の種類・住宅の所有の関係	35
建築確認申請件数	36
開発許可等申請件数	36
都市計画用土地区分面積	36
水道事業の概要	37
用途別給水状況	37
下水道等の普及状況	38

運輸・観光

自動車登録台数の推移	42
町道の状況	43
橋梁の状況	43
国道・県道の延長	43
小川町駅月別乗車人員	44
駅別年間乗車人員の推移	44
郵便物取扱状況	45
郵便施設数	45
入込観光客数	46
埼玉伝統工芸会館月別入館者数	46
見晴らしの丘公園ローラー滑り台利用者数	47
小川町和紙体験学習センター利用者数	47

保険・福祉		医療・衛生	
国民年金の概要	50	医療施設数の推移	72
国民健康保険の概要	51	医療従事者数の推移	72
介護保険の概要	51	献血者数の推移	72
在宅福祉事業の状況	52	乳幼児健診・相談状況	72
身体障害者手帳所持者数	53	がん検診の状況	73
療育手帳所持者数	53	健康診査等の状況	74
精神障害手帳所持者数	53	選択死因別死亡数	74
マイナンバーカード交付枚数	53	予防接種の状況	75
在宅重度心身障害者手当支給状況	54	畜犬登録狂犬病予防注射実施頭数	77
重度心身障害者医療費支給状況	54	一般廃棄物処理状況	77
後期高齢者医療の概要	54	し尿処理状況	77
こども医療費支給状況	55	合併処理浄化槽設置届出数	77
児童手当支給状況	55		
保育所の概要	55		
いきいきタクシー券交付状況	56	警察・消防	
募金の状況	56	刑法犯罪種別認知・検挙状況	80
総合福祉センタープール・浴場・交流室利用者数の推移	56	年次別交通事故発生状況	80
ふれあいプラザおがわ利用者数の推移	56	道路別交通事故発生状況	81
		法令違反別交通事故発生状況	81
		市町村交通災害共済加入・支払状況	82
		火災発生件数と損害額	82
		出火原因別火災件数	82
		救急出動件数	83
		消防施設の状況	83
教育・文化		選挙・財政	
学校の概要	60	年次別有権者数の推移	86
幼稚園年齢別園児数の推移	60	各種選挙の状況	86
小学校・中学校・高等学校 児童生徒数の推移	60	投票所別有権者数の推移	87
学校・学年別児童生徒数	61	まちづくり寄付金(ふるさと納税)の状況	87
学校別校地及び校舎面積	62	一般会計歳入歳出決算の推移	88
中学校卒業後の状況	63	国民健康保険特別会計決算の推移	89
高等学校卒業後の状況	63	後期高齢者医療特別会計決算の推移	90
公民館利用状況	64	介護保険特別会計決算の推移	90
公民館利用者数の推移	64	下水道事業特別会計決算の推移	91
公民館等事業実施・利用の状況	64	農業集落排水事業特別決算の推移	91
町民会館(リリックおがわ)入館者数の推移	65	水道事業決算の推移	92
図書館利用状況	65	町税の推移	93
図書館蔵書の状況	65		
図書館利用登録者数	65		
学校給食施設	66		
社会体育施設	66		
小川和紙マラソン大会参加者受付状況の推移	67		
指定文化財一覧	68		
登録文化財一覧	69		

小川町の概要

町 制 施 行 昭和30年2月11日

位 置 北緯36度03分23秒 東経139度15分42秒

標 高 90.9m

面 積 60.36 km²

人 口・世 帯 国勢調査 人口 31,178人（平成27年10月1日現在）

世帯数 12,007世帯（平成27年10月1日現在）

住民基本台帳 31,618人（平成27年12月31日）

町 の 木 けやき

町 の 鳥 メジロ

町 の 花 福寿草



国勢調査人口と住民基本台帳人口の違いはなに？

国勢調査は、5年に1回行われる基幹統計調査とよばれる重要な調査で、日本に住む全ての世帯を対象とした調査です。

一方、住民基本台帳とは、住民登録されている方の住民票を編成したもので、そこから割り出したものが住民基本台帳人口です。しかし、中には住所を変更しないまま転居してしまう方がいるため、国勢調査の結果との間に違いが生じてしまうのです。

このように、より正確なデータを把握するため、基幹統計調査は重要な役割を担っています。（人口：本書10ページ）

沿革

昭和30年2月11日、比企郡小川町、大河村、竹沢村、八和田村の1町3村を合併し、あらたに小川町を設置した。

昭和31年1月1日、境界変更により、大里郡寄居町大字西古里、鷹巣の各一部を小川町に編入する。

昭和60年1月1日及び63年2月1日、境界変更により、比企郡嵐山町大字古里の一部を小川町に、小川町大字西古里の一部を嵐山町に編入する。

平成12年10月1日、境界変更により、嵐山町大字越畠の一部を小川町に、小川町大字上横田の一部を嵐山町に編入し、同じく境界変更により、寄居町大字西古里の一部を小川町に、小川町大字能増の一部を寄居町に編入する。

位置と面積

埼玉県の中央部よりやや西に位置する。東は嵐山町、南はときがわ町、西は秩父郡東秩父村、北は大里郡寄居町に接し、面積60.36km²。役場庁舎は、北緯36度03分23秒、東経139度15分42秒で、標高90.9mに所在している。

地勢

外秩父の関東山地と関東平野が接する位置にあるため、地形、地質ともにきわめて変化に富んでいる。地形の高低差は820mあり、その中に山地、丘陵、台地、低地といった様々な地形を見ることができる。町の地形は、西が高く東に向かって低くなる傾向にある。

山地は、町の西南に位置する最高峰の堂平山を頂点として、東は仙元山、西は笠山や官ノ倉山、町の北西部に位置する金勝山へと連なる。これらの山々が町の中心地を囲むように連なることで、小川盆地を形成している。

主要な河川は、槻川、兜川、市野川の3つである。笠山及び東秩父村に源流をもつ槻川、金勝山の麓に源流をもつ兜川は、盆地の中心部で合流し、曲流しながら町の東側へ流れ出る。寄居町の丘陵部に源流をもつ市野川は、町の北東から嵐山町との境界に沿い東側へ流れ出る。これらの河川及び小川盆地によって形成される低地や台地には、市街地や豊かな田畠が広がっている。

※主な山の標高（標高順）

堂平山…876m　笠山…837m　官ノ倉山…344m　仙元山…299m　金勝山…263m

※標高最低点は、市野川河床の55m